



(発行名義人) SSKR 障害者団体定期刊行物協会 東京都世田谷区砧6-26-21 1992年4月17日 第三種郵便物認可 (毎月3回7の日発行) 2023年5月23日発行 定価60円 SSKR増刊通巻第9786号

(編集人) 公益社団法人 横浜市身体障害者団体連合会 横浜市港北区鳥山町1752 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3階 佐藤 秀樹

マリントワーから

山下公園を望む



(写真提供) 横浜マリントワーより

横浜市身体障害者団体連合会 2023年度事業計画

I 基本方針

新型コロナウイルス感染症は発生から3年以上が経過していますが、いまだ終息が見通せない状況が続いています。一方、昨年の秋には全国旅行支援が開始されるなど行動制限等が緩和され、日常生活や社会・経済活動はコロナ禍前の状況を取り戻してきています。浜身連でも、前年度は再開できた事業等が増加し、計画どおりの事業実施に近づいてきました。この長引くコロナ禍で、人と人との結びつきの大切さを改めて気づかされました。障害者の様々な不安にこたえる相談や情報発信、地域で安心して暮らしていくための取組みなどが課題となっています。障害者の孤立防止に向けた「つながり」を回復し社会参加を促進していくため、各事業に障害者のニーズを取り入れ工夫を加えながら全事業を計画どおり実施していくことが求められています。

令和3年には、民間事業者による合理的配慮の提供を義務付ける「改正障害者差別解消法」が成立しました。また、昨年5月には、「障害者情報アクセシビリティ・コミュニティ」が施行され、民間事業者による合理的配慮の提供が義務付けられることになりました。この改正法は、民間事業者による合理的配慮の提供を義務付けることにより、障害者の社会参加が更に促進していくことが期待されます。こうした動きを追い風として、障害者の気づきや思いを積極的に伝え、当事者参加のもと多くの方々と手を携えて、共生社会実現へと進んでいくことが重要となります。また、大地震や風水害等の災害リスクへの対策として、障害者の声を吸い上げ、関係する機関と連携しながら安全・安心のネットワークを構築していくことが必要です。

- 【2023年度の取組みの柱】
1 共生社会づくりに向けた 普及・啓発活動の推進
2 スポーツ・レクリエーション
3 普及啓発
4 障害者社会参加推進センター事業
5 災害対策(研修会等)
6 障害者雇用相談事業
7 障害者社会参加推進協議会運営
8 第12期横浜市障害者社会参加推進協議会
9 第38回横浜市身体障害者福祉の集い
10 第73回横浜市身体障害者福祉の集い
11 第38回横浜市身体障害者福祉の集い
12 第38回横浜市身体障害者福祉の集い
13 第38回横浜市身体障害者福祉の集い
14 第38回横浜市身体障害者福祉の集い
15 第38回横浜市身体障害者福祉の集い
16 第38回横浜市身体障害者福祉の集い
17 第38回横浜市身体障害者福祉の集い
18 第38回横浜市身体障害者福祉の集い
19 第38回横浜市身体障害者福祉の集い
20 第38回横浜市身体障害者福祉の集い